

令和7年度 1年次生 学びのプラン

教科名	芸術	単位数 (コマ数)	2単位 (2コマ)	履修年次	1年次
科目名	書道Ⅰ	履修	必修修(選択)	開講	通年
教科書	書Ⅰ(光村図書)	副教材	なし		
1 学習の目標					
1 書道の幅広い学習活動を通してその特質を理解し、制作意図に基づいて主体的に表現するための知識や技能を身につける。□ 2 創造的な表現を工夫したり、書道の美しさを探究し深く味わうことができる。□ 3 生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。□					
2 学習の方法					
学習の柱は、表現と鑑賞の二つです。表現では主に毛筆を使う実技を行い、鑑賞では古今の名筆から多様な書的美を学びます。 1 表現 (1)「毛筆」毛筆の特性を知り、書体と書風の違いによる線質を学びます。毛筆による様々な表現方法を学びながら、制作意図に即して文字や言葉を表現することを目指します。 (2)「篆刻」作品に押すの雅印を制作します。石に刀で文字を刻す表現と作品に押印する効果について学びます。 (3)「表装」自分の作品を表装して、展示にふさわしい形に仕上げます。 2 鑑賞 (1)「名筆鑑賞」古典の美しさを学ぶとともに現代の書にも触れ、書表現の幅の広さを知って自作に反映させます。 (2)「相互鑑賞」自他の作品を鑑賞して、対話を通して自他の理解につなげます。 ※相互に意見交換を行い感じたことや理解したことを言語化して相互理解につなげます。制作意図を明確にして、作品制作にあたっては課題を解決していく過程を大切にする。					
3 評価について					
①評価の観点					
知識・技能	・書の表現や形式、多様性などについて理解を深める事ができる。 ・書の伝統や文化に基づき、効果的に表現するための技能を身に付けることができる。				
思考・判断・表現	・書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を深く捉えることができる。				
主体的に学習に取り組む態度	・主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育み、書の伝統と文化を踏まえて、心豊かな生活や社会を創造できる態度を養うことができる。				
②評価の方法					
材料 観点	作品	鑑賞	臨書前書き込み	振り返り	評価方法
知識・技能	○	○	○	○	・作品 ・臨書前書き込み ・振り返り
思考・判断・表現	○	○	○	○	・臨書前書き込み ・作品 ・振り返り
主体的に学習に取り組む態度	○	○	○	○	・振り返り ・臨書前書き込み ・振り返り
4 その他					
用具・用材は、その違いによって作品に差が生じないように、教材費を徴収して一括購入します。					

5 単元の目標・評価						
単元名	導入					
単元の目標	・芸術科書道の学習内容を把握する。 ・基本的な用具用材と文防止法について理解する。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力	継続力
活動形態						
活動内容						
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	・書写と書道の違いを理解し、芸術科書道の学習について理解することができる。・基本的な用具用材・文房四宝について理解できる。□ □ □ □ □					
単元名	芸術書道入門□					
単元の目標	・漢字の歴史(五体)について理解する。 ・書体と書風について理解し、自分の名前を五体書き分けることができる。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力	継続力
活動形態						
活動内容						
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	・日本および中国の書の伝統文化に関心を持ち、そのよさや美を感じ取ることができる。 ・漢字の書体の変遷、仮名の成立を理解することができる。 ・字典の引き方、見方を理解して活用できる。		・書体の特徴を理解し、字書を用いて自分の氏名を硬筆で書き分けられる。□		・書体に興味を持ち、よりよい表現を求めて五体で名前を書き分けようとしている。	
単元名	篆刻の学習					
単元の目標	・毛筆以外の書の分野にふれ、姓名印の制作を通して書表現の幅の広さを理解する。 ・作品における印の効果を理解する。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力	継続力
活動形態						
活動内容						
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	・篆刻の発生から伝統的な美について理解することができる。 ・篆刻に関する基本的な知識、用具用材に関する知識や扱い方を理解できる。		・創造的な篆刻作品を制作するために、基本に基づきながら制作意図に即した工夫をしている。 ・篆刻に関心を持ち、そのよさや美を感じとっている。		・完成度を高めるために、粘り強く制作にあたろうとしている。	

単元名	臨書の学習1～4(楷書・隸書・行書・仮名)					
単元の目標	・古典のあじわいや作品の特徴を踏まえた美を感じ取る。 ・古典の時代、書者、内容などの背景を理解する。 ・古典の鑑賞と臨書を通して、その特徴・技法を理解習得する。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力	継続力
活動形態						
活動内容						
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
評価規準	・古典を鑑賞してそのよさや特徴を感じ取り、自らの言葉で表現することができる。 ・書美の背景となる時代・書者・内容について理解することができる。 ・鑑賞に基づき基本的な点画や線質の表し方と運筆・用筆の関係を理解し表現することができる。	・古典のもつ美を感じ取り、書風に即した表現を目指して作品制作をしている。 ・古典と活字との文字造形の違いを認識し、漢字の造形美を理解する。 ・個々の課題を見つけ、課題解決に向けて試行している。		・古典の歴史的価値に関心を持ち、その特質を理解しようとしている。 ・作品鑑賞によって感じたことを意見交換によって共有し、自作の制作に生かそうとしている。		

単元名	創作の学習1(姿勢・執筆・運筆・用筆、線質と味わい)					
単元の目標	・姿勢・執筆・運筆・用筆について理解する。 ・毛筆の特性を知り、線質と味わいの関わりを理解する。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力	継続力
活動形態						
活動内容						
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
評価規準	・基本的な姿勢・執筆、毛筆の機能について知り、運筆・用筆の方法を理解していろいろな線を表すことができる。 ・運筆・用筆、線質と味わいの関わりを理解することができる。 ・自他の作品を鑑賞して感じたことを自らの言葉で表現することができる。	・運筆・用筆の違いによる線質の違いを理解し、意図に応じて使い分けようとしている。 ・線質の違いによる表現の違いを味わおうとしている。		・運筆・用筆の違いによる線質の違いを理解し、様々な組み合わせを試そうとしている。 ・よりよい表現をめざすために他者の作品を深く鑑賞しようとしている。		

単元名	創作の学習2(漢字の書・漢字仮名交じりの書)					
単元の目標	・書の構成要素について理解する。 ・書の構成要素を作品に生かし、意図をもって表現する。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力	継続力
活動形態						
活動内容						
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
評価規準	・書の構成要素を知り、その表現効果について理解し表現することができる。 ・自他の作品を鑑賞して感じたことを自らの言葉で表現できる。	・書の構成要素を組み合わせ、それを生かして表現しようとしている。 ・個々の課題を設定し、試行を繰り返して解決に向かおうとしている。		・作品の相互批評を自作に反映させようとしている。 ・他者の発表を聞き、鑑賞をより深めようとしている。		

6 年間計画						
学期	月	単元		項目	予定時数	考查
前期	4	オリエンテーション	芸術科書道について ・書写と書道 ・文房四宝	・芸術書道の理解(アンケート) ・書写と書道の違いを理解し、学習内容を確認する。 ・文房四宝と用具用材について理解する。	2	前期 中間 考查
	5	芸術書道入門 創作の学習1	漢字の歴史～書体と書風 漢字創作 ・姿勢・執筆 ・運筆・用筆～いろいろな線 ・線質の違いによる書き分け	・筆の機能を知り、線質と書風の関わりを理解する ・意図に基づく線質を研究する。 ・相互に作品鑑賞し交流する。	3 4 8	
	6	篆刻の学習	雅印の制作	・印の造形美について理解する。 ・印を制作し、押印することで雅印の効果を認識する。	2	前期 期末 考查
	7	臨書の学習1	初唐の楷書 北魏の楷書 「賀蘭汗造像記」	・整齐美を理解する。 ・造形の特徴を捉えて臨書する。 ～運腕を大きく直線的に力強い線で逞しい骨格を作る。 ・相互に鑑賞し合い交流する。 ・均衡美を理解する。	8	
	8					
	9	臨書の学習2	木簡の学習	～リズムにのってのびのびと書く ・変化と調和 ・隷書の基本用筆を理解する。 ・相互に作品鑑賞し交流する。	8	後期 中間 考查
	10	創作の学習2	「漢字一字書」 ・作品を構成する要素～文字の形・大きさ、墨の潤渴・濃淡、線質、構成、余白	・墨色の違いによる作品効果を理解し、淡墨作品を書く。 ・作品制作を通して構成要素の組み合わせによって様々な作品が生まれることを理解し、イメージを表現するための工夫をする。	6	
後期	11	臨書の学習3	「漢字仮名交じりの書」 ～校歌を書く 行書の学習 「蘭亭序」	・一字書の学習を応用して、多字数の詩文の構成について理解する。 ～筆脈を意識し抑揚の変化を学ぶ	8	
	12	臨書の学習4	仮名の学習 ・仮名の成り立ち ・単体・連綿・変体仮名・構成 「蓬莱切」	・行書の特徴と基本的な用筆 ・仮名の歴史的背景を知る。 ・基本的な用筆とリズムを学ぶ。 ・仮名の古典に触れ、流動美を味わいリズムにのって書く。	6	後期 期末 考查
	1	創作の学習3 (漢字仮名交じりの	図書館の蔵書から文学作品(小説・詩歌など)を題材に書	・詩文から感受した言葉を選ぶ。 ・言葉への思いを書で表現する。 ・線質と構成を工夫する。 ・裏打ちにより作品効果を高める。 ・相互に作品鑑賞し交流する。	14	
	2					
	3	書道 I のまとめ	一年間の学習をふり返る。	取り組みをふり返り感想を書く。	1	